





# 第14回バリアフリー推進勉強会

## トランスジェンダーの立場から

鹽安九十九

## (1) トランスジェンダー当事者が抱えている困り事（実体験から）

「トイレに入る際の周囲の視線」

(31.1%)

「トイレに入る際の周囲からの注意や指摘」

(23.5%)

「男女別のトイレしかなく、選択に困ること」

(21.4%)

■ TOTOのデータ「性的マイノリティのトイレ利用に関するアンケート調査結果（2018）」

# 女子トイレ→車椅子トイレ→男子トイレ 性別移行により使用するトイレも変化

- 女子トイレを利用していた時
  - ・ ジロジロ見られる・睨まれる・不安を与える  
→ トイレを我慢する・水分制限・行動／範囲の制限・タイミングを熟慮する
  
- 車椅子トイレを利用していた時
  - ・ 非常に便利・  
・ 自分勝手な健常者と見られて肩身が狭い  
→ 表記の無い標準サイズのトイレが欲しい

## ●男子トイレを利用している今

- ・個室が少ない・汚かった
- ・生理用品を捨てる場所がない
- ・目立たないのであまり見られない

## ●男子トイレでの気づき

- ・手を洗わない人が多い
- ・堂々と思い切り屁をこく
- ・個室で排尿する人もけっこういる

# トランス女性の場合の困難

- ・ 犯罪者として見られることリスク
- ・ 通報される危険性→診断書の所持
- ・ 心理的負担に伴う身体的不安
- ・ カムアウト後でも周囲からの拒絶

# 深刻なトイレのストレス

## ●精神面

居心地の悪さ。ばれたらという不安。暴力ハラスメントに対する恐怖。

健常者が車椅子トイレを使う肩身の狭さ

## ●身体面

排泄を我慢して膀胱炎などになる。水分を控えるため脱水症状ぎみ。健康面に影響。

単に、排泄したいだけにもかかわらず、これだけの負担を強いられる社会ってどうなのか。

誰もが安全に排泄できる権利を保障する社会について、トイレで困ったことがない人たちにもっと知ってもらいたい。

トランスのトイレ利用 VS 女性の安全

男女別のトイレがなくなると女性への  
犯罪が増えるという主張。



トランスジェンダーがハラスメントに合う  
安全でない現状

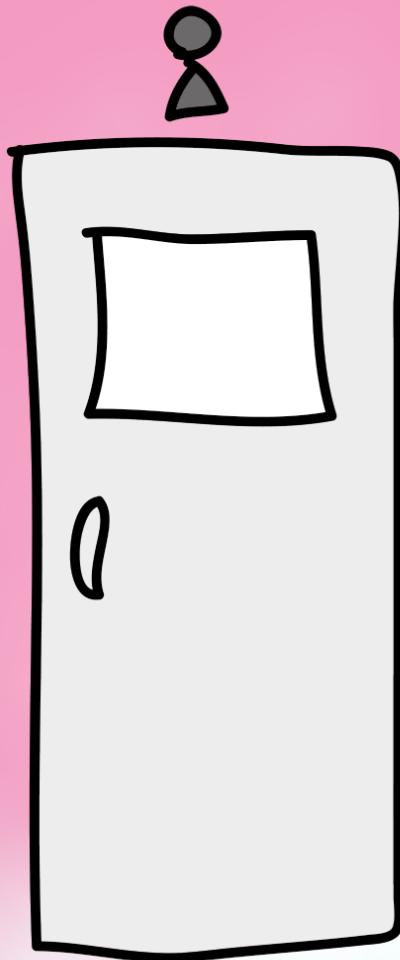
→ ハラスメント防止が共同目標

## 性自認に基づいたトイレの使用が可能になるには、 どんな社会的コンセンサスが必要か

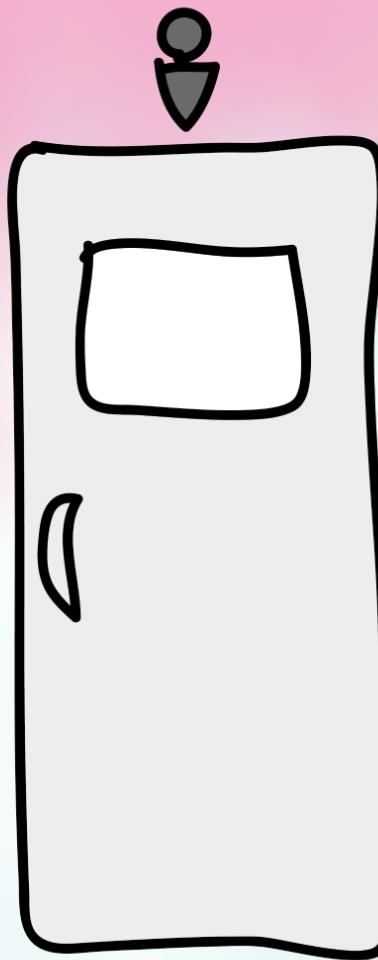
- ・ 基本的人権としてどのような個人も性自認に基づいて生きれる保障
- ・ 性差別を許さないという一貫した態度
- ・ 属性、外見、状況に関わらずハラスメントは許されないという認識
- ・ みんなが世の中の不平等とそれぞれの特権を自覚している

**All individuals are  
welcome to use the  
restroom that is  
consistent with their  
gender identity.**

**Todas las personas  
pueden decidir  
usar el baño que  
esté acorde con su  
identidad de género.**



当館では、お客様の性自認に合ったトイレのご利用を歓迎いたします。



# 安全なトイレにするには トイレ自体の概念を変える必要があるのではないか

- ・トイレを忌み嫌うものとして、端に追いやるのではなく、排泄と言う基本的な人の権利として堂々と主要な場所として扱う
- ・人目につかない、隠すべきものとして設置するのではなく、誰もがアクセスしやすい便利で目立つ場所に
- ・排泄自体への捉え方を変える

# 障害者 VS トランス

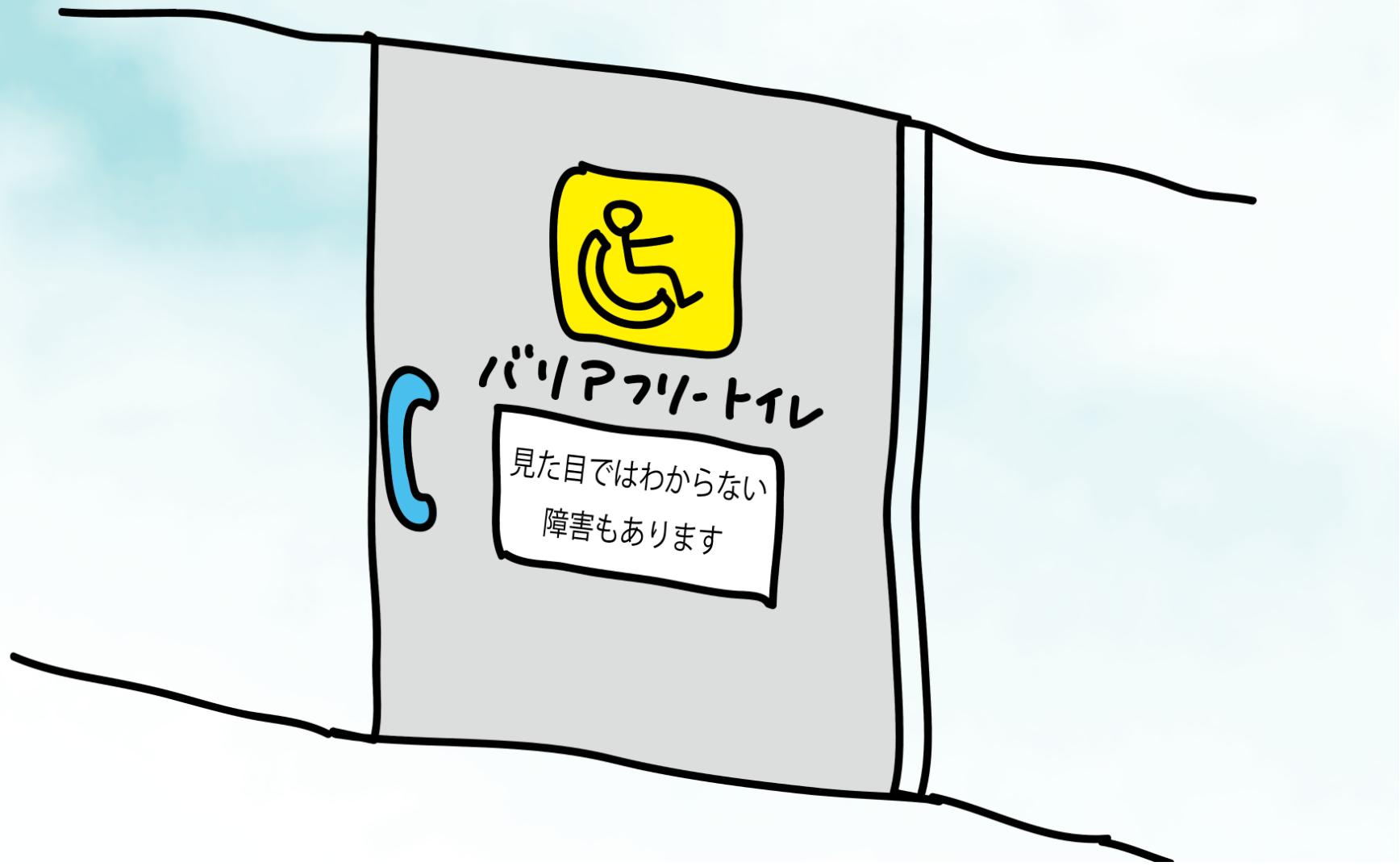
健常者が長時間利用する  
ことによる深刻な迷惑

- ・排泄の権利や平等について認識が高まれば、車椅子トイレで迷惑行為をする健常者を減らせる。
- ・トランスが男女トイレに入れるようになれば、車椅子トイレの利用が減る
- ・障害者とトランスジェンダーなどのトイレ問題について共有する。



This is an  
accessible and  
all gender washroom.  
Please be  
considerate of those  
who require it.





**トイレ内の啓発を  
もっと行う余地がある！**

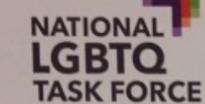
**車椅子トイレを使う健常者へ  
トイレを使うシスジェンダーへ**

# トイレは人権！ トイレアクセシビリティ 啓発ポスター ご自由にお使い下さい。 2020/9

多くのトランジエンダーがトイレで不自由と不安を感じています。  
誰もが安全に用が足せるトイレにしたい！皆さんのアクションをお  
願いいたします。  
皆さんの職場、お勤めの機関のトイレなどで自由にポスターをご活  
用ください。画像をクリックするとPDFが開きます。







SOMETIMES BECAUSE  
OF **HOW PEOPLE LOOK**,  
THEY AREN'T ALLOWED  
TO USE THE RESTROOM.

**WE CAN DO BETTER!**

#### REAL IMPACTS

There are real impacts when bathrooms are labeled for women or men **only**.

- Trans and Gender Non-Conforming people often face discrimination, harassment, arrest or violence in bathrooms!
- Everyone should get to do their makeup, change clothes, change their babies and use the bathroom in peace.
- Everyone who needs help should be able to use the facilities with their family members, friends or attendants.

It's important that we proactively work to create safer spaces whenever and wherever we can. We realize sharing a bathroom could feel new and different – we appreciate your understanding.

THANK YOU for helping make this space inclusive so that it is safe for everyone!

In this bathroom  
we ask that no  
one will be stared  
at, questioned or  
asked to leave.

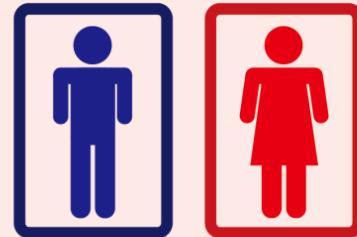
this bathroom is for everyone.







ど、ちにも入れない  
でもおしゃれしたい!

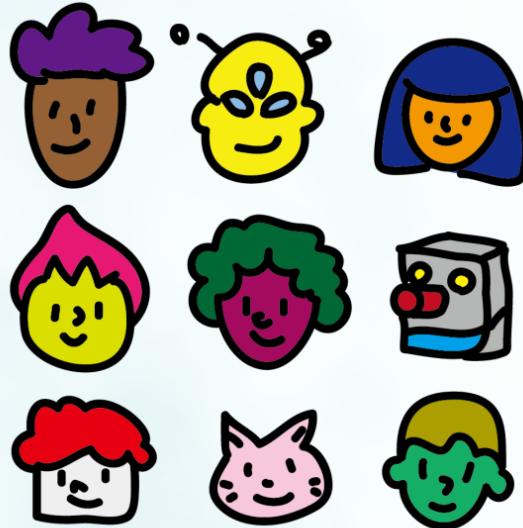


安全にトイレを使うことは、  
贅沢な望みでも、  
特別な権利でもありません。

トランスジェンダー や典型的な男や女でない人  
も、安心して用を足せるように配慮しましょう。



誰もが安心して用が足せるトイレ環境つくりにご協力ください。  
どのような属性、外見、状況であってもハラスメントは許されません。



私たちには個々の在り方を尊重します

トイレで違う性別に見える人と出会っても、慌てず冷静に。  
迷惑行為をしていない限り、何も言う必要はありません。

- ・自分の意思に反して異性に見間違われる人がいます
- ・どちらとも言えない中性的な外見の人もいます
- ・こうした人たちはジロジロ見られたり、注意・脅されたり、不快な思いをトイレで体験することが多々あります

# もれる!!

『だれでもトイレ』が必要な人たちにご配慮下さい。

例えば…



トイレの目的外の使用や  
長時間の利用はご遠慮下さい。

トイレで違う性別の人を見かけることがあるかもしれません、そういうこともあります。

例えば



親子、夫婦の付き添い



視覚障害、知的障害、  
高齢者の方の異性介助者



典型的な男女の枠に  
はまらない人



自分の意志に反して  
なぜか異性に間違われる人

誰もがトイレを気兼ねなく使えるよう  
様々な立場の人がいることを知りましょう。  
ハラスメントや迷惑行為をしていない限り  
スルーしましょう。